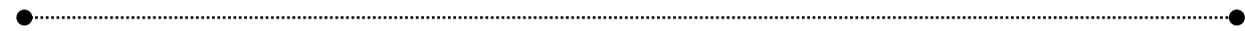


平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松本地域の異業種連携事業「ゆかたキャンペーン」2018
事業主体 (連絡先)	ゆかたキャンペーン実行委員会 松本市本庄2-3-12 山田ビル1F
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,814,708円 (うち支援金: 1,432,000円)



事業内容

松本地域の住民が主体となり地域活性化、業界発展に繋げようと、今年度より実行委員会を立ち上げて地域の異業種や、組合、団体、高校、報道機関、一部町会が連携してゆかたを着た来店客を独自のサービスでもてなす第5回目の「ゆかたキャンペーン」を展開した。今年度のオープニングイベントは住民参加型で参加者や観光客を巻き込んで盆踊り大会を企画し盛大に開催された。盆踊り前には子供達の伝統行事青山様・ぼんぼん、エクセラン高校生のゆかたファッションショー、地元キッズダンスチームのダンスなどの披露があった。また東京から参加の音楽ライブや畳アート体験、松本山雅FC関係者の出演でよりイベントが盛り上がった。

キャンペーン期間：7月16日～8月16日
盆踊り大会：7月16日15時50分～松本駅前広場



【盆踊り大会】

【目標・ねらい】

- ①日本文化の継承。
- ②「ゆかた」をテーマに地域住民主体事業の啓発に伴った参加店の増加。
- ③地域活性化と地域住民、行政の連携、啓発。地域観光や新たな業種のきっかけに繋がる事業。

事業効果

- ①今年度より継続的な取り組みを考え、実行委員会を立ち上げてキャンペーンを展開した。
- ②前回までの連携団体、組合、地元高校、町会、銀行、報道機関に加え、新たに松本ホテル旅館協同組合と連携でき自ら地域を元気にするという趣旨の団体やオープニングイベントを盛り上げてくれる賛同者があった。
- ③信州DCのアフターの年であり、観光客に長野県の冊子配布などキャンペーンを通して少しでも信州DCに協力できた。
- ④この事業は地域住民主体の観光資源であり回数を重ねて開催することで地域に根付かせていくことが大事。アイデアを考え徐々ではあるが地域や行政の連携が広がりつつある。

※自己評価【 C 】

- 【理由】
- ・継続性を考え実行委員会を立ち上げて参加店の有料化をした。
 - ・オープニングイベントを参加型にして多彩な団体が盛り上げキャンペーンを周知した。
 - ・地域、行政との理解と連携が徐々に進行傾向。

今後の取り組み

今年度は継続的な取り組みを考えて実行委員会を立ち上げ、参加店の有料化に踏み切った。事業経費面においては今後の自立した事業展開を考え資金面について賛同者を集めることやクラウドファンディング等の方法も検討していきたい。今年度まで連携した地域の団体や高校などとは引き続き連携をする。地域にとって駅前の賑わいは観光事業にとっても重要であると思う。駅前から松本城に続くかいわいの商店街の理解を深めさらに賛同者を増やし「ゆかたキャンペーン」を継続していく。また、インバウンドを対象とした取り組みの力を入れていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある